

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

病虫害防除技術情報（第 5 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、ご参照の上、防除指導方よろしくお願
いたします。

記

情報の内容 ゴマダラカミキリ成虫の早期発生について

対象作物：かんきつ類

1 発生状況

ゴマダラカミキリ成虫は、中予地域では例年 6 月 10 日頃から枝葉の後食(※)や飛翔、交尾が
観察され始めるが、本年は 6 月当初から例年より 10 日程度早く観察されており、多数の園地で
発生が目立っている。

※後食：カミキリムシ類等の成虫が葉や枝を食べる行為

2 発生生態と被害の特徴

成虫は 5 月下旬～6 月頃、樹幹に脱出孔を開けて羽化してくる。後食・交尾して羽化 10 日前後
経過すると産卵を始める。産卵最盛期は 6 月中・下旬であり、卵は地際部の樹幹の形成層に産み
付けられる。1 週間程度で孵化した幼虫が形成層から木質部へ食入する。この時、樹幹から木屑
が出るので加害の目安となる。

3 今後の防除上の注意と対策

- (1) 成虫の発生が早い園地では、成・幼虫対象の防除時期を早める。防除薬剤は表 1 を参照。
- (2) 成虫は移動性が高く、地域内密度を低下させるためにも一斉防除が有効である。また、
いずれの薬剤も降雨による効果低下が顕著であるため、散布後 2～3 日は晴れになる日の散
布が望ましい。
- (3) 成虫や食入幼虫は見つけ次第捕殺する。
- (4) 苗木や幼木では株元に雑草が繁茂すると寄生しやすくなるので除草に努める。

表 1 ゴマダラカミキリ(天牛)に登録のある主要薬剤

防除対象	薬 剤 名	倍率等	使用時期/使用回数
成 虫 (6月)	アドマイヤーフロアブル	4000倍	収穫14日前まで/3回以内
	モスピラン顆粒水溶剤	4000倍	収穫14日前まで/3回以内
	アクタラ顆粒水溶剤	4000倍	収穫14日前まで/3回以内
	ダントツ水溶剤	4000倍	収穫7日前まで/3回以内
	ハチハチフロアブル	1000倍	収穫前日まで/2回以内
幼 虫 (7月～)	モスピラン顆粒水溶剤※	200倍	収穫14日前まで/3回以内
	モスピランSL液剤※	400倍	収穫14日前まで/3回以内
	園芸用キンチョール	食入孔に注入	収穫14日前まで/6回以内



写真 1 ゴマダラカミキリ成虫

注)※印の薬剤は孵化後、主幹株元に散布。